



# 那覇市立教育研究所 所報

第7号  
平成28年10月1日発行  
所長 儀間 稔



## 学習指導要領改訂の方向性について

所長 儀間 稔

暑かった夏も少しづつ秋の気配を感じるようになり、運動や学習に適した季節になつてきました。各幼稚園・小学校・中学校におかれましては、子ども達が充実した園生活や学校生活を送れるよう保育指導や学習指導等に取り組まれていています。現在、国においては、新学習指導要領の改訂に向け作業が進んでおりますが、昨年の論点整理に続き、各教科等別ワーキンググループ等の審議のまとめが報告されました。その中では、「生きる力」を育むという理念のさらなる具現化を図るため、学校教育を通じてどのような資質・能力が身に付くのかを三つの柱に沿って明確にされております。

### 【資質・能力に共通する要素である三つの柱】

- ①何を理解しているか、何ができるか  
(生きて働く「知識・技能」の習得)
- ②理解していることをどう使うか  
(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)

- ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか  
(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)

教科等では、三つの柱を基本とし、共通した資質・能力を育むことが必要となります。

### 【教科等の枠を超えて、すべての学習の基盤として育まれ、活用する資質・能力、学習活動】

- 言語能力(読解力や語彙力等を含む)：言語活動を通じて育成
- 情報活用能力：言語活動やICTを活用した学習活動を通じて育成
- 問題発見・解決能力：問題解決的な学習を通じて育成
- 体験から学び実践する力：体験活動を通じて育成
- 多様な他者と協働する力：「対話的な学び」を通じて育成
- 学習を見通して振り返る力：見通し振り返る学習を通じて育成

これらの能力や学習活動については、今後三つの柱や各教科等の特性に応じて整理されてくるものと思われます。

またその他にも、「幼児教育から高等教育までを見通しながら、教育目標や教育内容として取り組む」と明示されており、これまで以上に、幼児教育・小・中学校・高等学校との接続や連続性等の充実が図られてきます。まだご覧になつていない先生方におかれましては、ぜひ教育研究所Webページにアクセスし、ダウンロードしてご覧下さい。新学習指導要領の方向性等がご理解いただけます。

## 10月の教育研究所事業予定

- 10月6日 (木) 第107期 研究員 入所式(市役所)  
11~14日 ☆教育研究所移転作業(大道小学校へ)  
17日~ ★移転業務完了・業務開始(予定)  
20日 (木) 第9回教職10年経験者研修(厚)  
27日 (木) 第11回初任者研修(道徳G授業研)  
※10月11日(火)~14日(金)までの期間、研究所移転のためにご迷惑をおかけいたします。よろしくお願ひいたします。

## 平成29年度 教育研究員の募集について

平成29年度 第108期(前期)・第109期(後期) 教育研究員の募集を開始します。募集の詳細につきましては、デスクネット・教育研究所Webページにも掲載していきますので、先生方の積極的な応募をお待ちしております。なお、幼稚園教諭の教育研究員につきましては、募集要項を確認の上、こども政策課担当指導主事へ提出をお願いします。

※募集期間: 平成28年10月3日(月)~11月25日(金)

## 那覇市立教育研究所は下記のとおり移転します!!

移転予定日	平成28年10月17日(業務開始予定)
移転先	那覇市立大道小学校 B棟2階(栄町通り沿いの校舎・こども園側の外階段からお上りください)

●メディカルプラザ大道中央バス

●移転先!!大道小内  
(栄町通り沿い校舎2階  
こども園側外階段が  
入口です)

※研究所専用の駐車場は  
学校敷地内にありません。  
来所の際には、公共交通機関等  
を利用して下さい。